

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和2年 1月20日

協議会名: 八街市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【業務内容】</p> <p>①八街市地域公共交通網形成計画及び八街市再編実施計画の効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査員による観測およびアンケート調査 八街市内循環バス(ふれあいバス):乗降客調査及びバス利用者アンケート調査の実施 路線バス(八街循環線):乗降客調査及びバス利用者アンケート その他バス路線:住野線、及び八街線乗降記録調査 ・市民アンケートの実施:公共交通が不便だと想定される市民1,500人を対象にしたアンケート ・高齢者外出支援タクシーの利用状況調査:申請者数及び利用枚数及び移動実態の把握 ・関係事業者ヒアリング:関係事業者へのヒアリングを実施し、収支等シュミレーションの基礎資料となる実態を確認する。 <p>②市内公共交通に関する課題の整理ととりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した調査結果の分析により、本市の交通施策における現状を把握し、定量的な手法により、メリットとデメリットの整理を行う。 <p>③地域特性に即した公共交通網の見直し案の検討・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実現可能性の高い公共交通網の見直し案の検討及び提案 ・公共交通の採算性向上策の検討及び提案 ・現行交通施策実態との比較及び収支等のシュミレーション <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市コミュニティバス、民間路線バスの乗降客調査、高齢者外出支援タクシーの利用状況調査、市民アンケートを実施し、利用実態(利用者数、利用目的など)や公共交通に対する市民ニーズの把握をすることが出来た。 ・今後、各調査の結果を踏まえ、持続可能な公共交通体系の構築に向けた問題点や課題を整理し、本市において望ましい公共交通のあり方についての基本方針を3月中に取りまとめ。次年度は、今年度の取りまとめ結果をもとに、本地の地域特性を踏まえた適切な地域公共交通計画を策定し、持続可能な地域公共交通を確保する。 	<p>事業が計画どおりに適切に実施された。</p> <p>A</p> <p>【未実施の事項の今後の予定】</p> <p>2月に関係者ヒアリングを実施し、公共交通の利用状況調査や市民アンケート調査等の結果を踏まえ地域特性に即した公共交通網の見直し案の検討をおこなっていく。</p>	<p>本事業の調査で浮かび上がった現状と課題を踏まえると、地域住民の日常生活における交通手段を確保しつつ、移動ニーズに応えた財政的にも環境的にも持続可能で効率的な交通手段の提供と誰もが簡単に安心して利用できる交通手段を提供することが、地域公共交通が果たすべき役割と考えられる。この役割を果たすため、利用実態やニーズを踏まえた効率的な路線の再編や、地域住民の移動ニーズに対応したダイヤの改正、新たな持続可能な公共交通の提供などを現時点における計画策定の方向性としている。</p>

令和元年度 八街市地域公共交通協議会 (千葉県八街市) (地域公共交通調査事業)

概要

○公共交通の概況

八街駅と榎戸駅を結ぶJR総武本線、3事業者による民間路線バス4路線がJR八街駅を発着しているほか、タクシー事業者2社が市内に営業所を構えている。また、平成29年10月に、八街市地域公共交通網形成計画及び八街市地域公共交通再編実施計画に基づき、八街市内循環バス(愛称ふれあいバス)の路線再編を実施し、新たに4路線での運行を開始している。

「市民生活の利便性を支える利用しやすい持続可能な地域公共交通体系の再構築」を基本理念に、引き続き公共交通の利用促進を推進し、特に路線再編を行ったふれあいバスの市民への定着を図る必要がある。



面積	74.94 km ²
人口 (H31.4.1時点)	69,932人
15歳未満	6,847人
65歳以上	20,462人
高齢化率	29.25%
世帯数	31,582世帯

計画策定調査の必要性

市内の公共交通体系において、地域公共交通確保維持改善事業の補助対象路線である八街線(幹線系統・ちばフラワーバス(株))や市内移動の主要手段であり年間8万5千人程度の利用があるふれあいバス(フィーダー系統)をはじめとする既存のバス路線の確保維持を図りつつ、大型輸送の形態に拘らない新たな公共交通の導入の検討に補完しあう交通体系のあり方について検討する。

策定については、現状での各交通機関の利用状況、利用ニーズの的確な把握をもとに、乗り継ぎ利便性の向上、新たな公共交通の導入におけるシミュレーション、公共交通の採算性向上を目的とした施策の検討等、総合的な観点から見直しを行い、一層の公共交通ネットワークの充実を図るべく実施する必要がある。

協議会開催状況

- 協議会の開催状況 2回開催
- ・第1回(令和元年6月27日)
調査事業の実施について
- ・第2回(令和2年1月20日)
事業評価について
調査業務の報告について
- ・第3回(令和2年3月開催予定)

調査の内容

①八街市地域公共交通網形成計画及び八街市再編実施計画の効果検証

市コミュニティバスの乗降客調査、民間路線バスの乗降客調査、高齢者外出支援タクシーの登録者と利用助成の実績データの整理
市民アンケートの実施(公共交通が不便と想定される地域住民1,500人)、自治体・事業所へのヒアリング等を実施

②市内公共交通に関する課題の整理ととりまとめ

実施した調査結果の分析により、本市の公共交通施策における現状を把握し、定量的な手法により、メリットとデメリットの整理を行う

③地域特性に即した公共交通網の見直し案の検討・提案

- ・実現可能性の高い公共交通網の見直し案の検討及び提案
- ・公共交通の採算性向上策の検討及び提案
- ・現行交通施策の実態との比較及び収支等のシミュレーション

調査事業の結果概要

①八街市地域公共交通網形成計画及び八街市再編実施計画の効果検証 → 市コミュニティバス、民間路線バスの乗降客調査、高齢者外出支援タクシーの利用状況調査、市民アンケートを実施し、利用実態(利用者数、利用目的など)や公共交通に対する市民ニーズの把握をすることができた。

②市内公共交通に関する課題の整理ととりまとめ ③地域特性に即した公共交通網の見直し案の検討・提案

→各調査の結果を踏まえ、持続可能な公共交通体系の構築に向けた問題点や課題を整理し、本市において望ましい公共交通のあり方についての基本方針を3月中に取りまとめる。

生活交通ネットワーク計画等の計画策定の方針

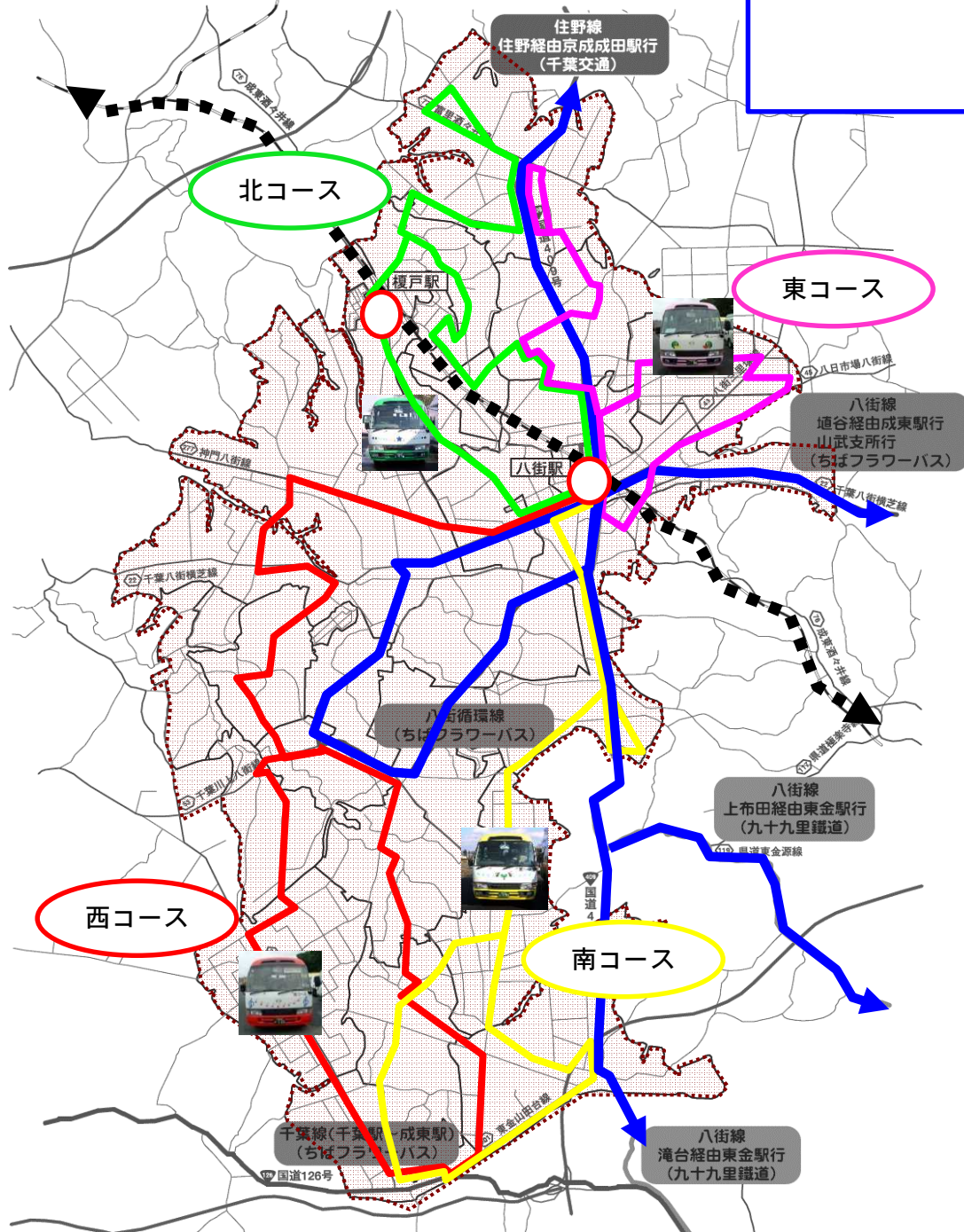
・本事業の目標としている八街市の地域特性をふまえた適切な地域公共交通ネットワークを構築するため、今回収集した基礎データやアンケート等を有効に活用し、本市における適切かつ持続可能な公共交通施策を実施していく。

・今年度行った調査業務結果をもとに令和2年度は新たな地域公共交通計画を策定する予定である。

次年度以降の取組概要

令和2年度 八街市地域公共交通計画(仮称)の策定(予定)

八街市公共交通体系図



【各路線について】

- JR 総武本線
- 民間路線バス
- コミュニティバス (ふれあいバス)
- 交通結節点 (乗り継ぎ拠点)